

令和3年度 第4回 大府市文化財保護審議会

日 時：令和4年3月18日（金）

午後1時30分～午後2時30分

場 所：歴史民俗資料館 会議室1

[出席者]（委 員）伊藤啓信、飯田隆裕、中村道宣、小松文五、舘内三郎、花井しおり、
西尾一、小早川道子

（事務局）小田原館長、田中専門員、水谷専門員

（傍聴者）0名（新型コロナウイルス感染拡大防止のため傍聴者は無し）

[欠席者]（委 員）中井良岳、見田隆鑑

（事務局）信田部長、田中課長、丹羽主事、本部専門員

1. 開 会

2. 委員長あいさつ

3. 報 告

令和3年度事業実績報告

（1）歴史民俗資料館事業実績報告（資料1）

田中専門員）歴史民俗資料館事業実績について説明。

以下資料参照。

（2）文化財保護審議会活動報告（資料2）

水谷専門員）文化財保護審議会活動について説明。

以下資料参照。

4. 議 題

令和4年度事業計画

（1）歴史民俗資料館事業計画（資料3）

小松委員）多目的ホールを企画展示室2へ改修されたということですが、企画展示室1と企画展示室2はどう使い分ける予定ですか。

小田原館長）企画展示室1は主に当館の企画展で使用し、企画展示室2は市民の方に貸館で展示していただく予定です。

飯田副委員長）歴史民俗資料館は郷土の歴史と文化を重点項目として掲げていますが、映画上映と郷土の歴史と文化に何か関連があるのですか。

小田原館長）映画は企画展と関連付けて上映しています。また映画コーナーでは、映画上映以外の時には市内の昭和の懐かしい写真を展示しています。

飯田副委員長）新しい集落遺跡（石丸遺跡）がでてきたのであれば、展示をして市民の方たちに広く知ってもらおうようにすると思います。

小田原館長）石丸遺跡は令和4年5月頃に報告書を刊行する予定でいます。また常設展示室で展示して紹介する予定でいます。

舘内委員）市指定無形民俗文化財保存伝承事業補助金と地域文化財総合活用推進事業と市指定有形民俗文化財保存事業補助金の交付予定額に差があるのですがどうということ

ですか。

小田原館長)市指定無形民俗文化財保存伝承事業補助金は市指定の無形民俗文化財の保存活用として市から最大10万円交付します。地域文化財総合活用推進事業は国の補助金で、山之神社祭礼山車の修繕をしています。この山車の修繕が3年計画で修繕予定していますが、市からは3年間で最大400万円を交付するものとなっています。

花井委員)どこの館にもある問題として、せっかくいい資料があっても一般の方は知らないことが多い。まずは地元を中心に伝え、次に周辺地域、県内と徐々に範囲を広げていく形で情報発信をするとういことだと思います。

小早川委員)館内の改修工事はどんな工事を予定しているのですか。

小田原館長)ロビーの多目的トイレの移動と吊り天井をかえる予定です。

小早川委員)石丸遺跡について、こういった遺跡なのか分かる資料があるとういことと思います。また山車の修繕においては、本来の形から変更してしまい、国から補助金が下りなくなるという事例もあるので、審議会の際にはこういった理由でどう修繕するのか分かる資料を提示するようにするとういことと思います。

小田原館長)次回審議会の際には資料を用意し、委員の皆様の意見を頂戴したいと思います。

(2) 文化財保護審議会活動予定 (資料4)

水谷専門員)文化財保護審議会活動予定について説明。

以下資料参照。

(3) 知多地方文化財保護委員会 (資料5)

水谷専門員)知多地方文化財保護委員会について説明。

以下資料参照。

5. その他

次期委員の委嘱について

小田原館長)今年度をもちまして小松委員が退任され、来年度よりコノハ美術代表取締役の池田ちか様が委嘱する予定です。

次回の審議会は5月18日(金)の第1回文化財保護審議会を予定していますので、皆様出席のほどよろしくお願いたします。

以上